



行事予定表		
3	木	町探検(牛久二小2年生来園)/サロン
4	金	筑波山登山(5歳児)
7	月	読み聞かせ(5歳児)
8	火	ピヨピヨひろば
10	木	カレーの日
11	金	交通安全教室(2歳児以上)
15	火	航空写真・全園児集合写真撮影
16	水	おべんとうデー
17	木	サロン
23	水	つつじが丘・ふたばランド交流会(5歳児)
24	木	誕生会
25	金	避難訓練
29	火	巡回相談



往く夏を惜しむ気にもならない程の夏の猛暑と、「もう、いい加減にしろ!」と叫びたくなるほどの残暑が続いたが、さすがに、彼岸が過ぎる頃には稲刈りの終わった田の上にならぬ秋あかねが舞い自然は秋の気配。見上げれば空はどこまでも高く透き通る陽の光にススキが揺れ土手には真っ赤な彼岸花。子ども達は運動会ごっこに夢中何度もバトンタッチを繰り返しエンドレスのリレーに疲れもみせぬ。保育園は今、活気に満ちあふれている。

今月の予定の中から・・・

●町探検(3日)

・牛久二小の2年生が生活科の「町たんけん」の一つとして保育園に来園します。卒園児に会えるかもしれません。

●筑波山登山(4日)

・ぞうグループ(5歳児)の子ども達が、筑波山のつつじが丘駐車場から自分の力で登ります。登山中には大変な箇所も幾つかありますが、みんなで登り切ることで、達成感と自信に繋がると信じています。応援して下さい!

●読み聞かせ(7日)

・指導員の宮本先生と栗山先生に、毎月お話を聞かせて頂いています。子ども達は何冊も何冊もリクエストをしています。ご家庭でも絵本の時間が取れると良いですね。

●カレーの日(10日)

・今月も園内がカレーの美味しい匂いに包まれます。ぞうグループにはそれぞれの役割を果たす事の大切さを感じて欲しいと考えています。

●交通安全教室(11日)

・横断歩道は「右・左・右」を見て、青信号を確認して渡るようにお買い物ゲームを通して学びます。

●航空写真・全園児集合写真(15日)

・当日の10時8分に航空写真を園庭で撮影し、その後ホールで全園児の集合写真を撮ります。

●つつじが丘・ふたばランド交流会(23日)

・つつじが丘保育園、ふたばランド保育園、当園の5歳児が集まり、つつじが丘保育園で運動会ごっこを行います。楽しい交流が出来るように配慮していきます。



●誕生会(24日)

・誕生会では、友だちの誕生日をお祝いする気持ちを大切にしていきたいものです。誕生者にとって特別な1日となりますように!

●避難訓練(25日)

・今日は午睡明けの時間に、給食室が火事の設定で避難訓練を実施します。

★お知らせ

※運動会は11月2日(土)

9時~12時50分予定

場所・牛久運動公園メインアリーナ

*詳細については後日お知らせを配布します。

★保育の無償化に伴い今月から3歳児以上のお子さん一人につき、給食費(主食代+副食代)六千円を徴収させていただきます。今月は納入袋で徴収させて頂きませんが、今後、「ゆうちょ銀行」の口座からの自動引き落としに移行しようと考えています。後日手続き等のお知らせを配布致しますので、ご協力、宜しくお願いします。

★たいようぐみ担任の吉国絵梨奈先生が、11月9日から産休・育休に入り、1年後に復帰予定です。

AIに敗けない教育



大学の仲間の集まりで、日曜の秋葉原行きのTXに乗った。車内は、昼間のため比較的空いていて、ゆったりと座れた。しばらくして気づいた。私の前の席の人々は、ほとんどの人がスマホの画面に釘付けになっていた。私も利用するが、本当に便利である。何でも検索できるし、どこに行こうか困らない。私の隣の若者も、友人と二人、会話もせず、ゲームに夢中になっていた。▼歴史の鉄則の一つに「贅沢品は必需品となり、新たな義務を生じさせる」というものがあるが、洗濯機、エアコン、コンピュータ、そしてスマホ。今ではなくてはならない物になっている。そして、それなしでは生活できなくなるほど、拘束されている。SNSが飛び交い、軽く通信が届く、軽く返信する。つい10年? 20年? 前は、重要な連絡は人を傷つけないように注意して、こちらの真意が伝わるようにじっくり考え、推敲して手紙を書いていたので、せいぜい、週に一通か、月に一通書くかどうか、という程度で済んでいた。だから、手紙が来ると、何かうれしくなり、心がホッとした。それで十分だった。▼それがどうだろう。世界の大統領だって、ウソ、デタラメを連発して発信している。ウソも100回言っている、真実になるというが・・・、文明は、人間にとって、毒にも薬にもなる。便利、効率ばかりを追い求めて、とんでもない迷路にはまってしまふことにならないように、人間って何だ? 人間の幸福って何だ? と問い直す必要がある。▼米のシリコンバレーのコンピューター技術者の多くが、子どもを自然の中で、子ども同士が関わり合って生活する環境を守って育てていると言っている。プログラミング教室を進めていた開発者が、読解力のない子にプログラミング教育をしても、全く意味を持たない、それより、絵本の読み聞かせ、読書をしつかりさせて、読解力を付けることが先だ、と言っている。幼児教育の基本は、心の教育である。他人と関わる力、考える力、忍耐力、想像力、非認知的能力、みんなAI、ICTにはない能力、できない能力である。人間にしかできない能力をつけることこそ、幼児教育の基本である。そのうえでICTを使いこなし、AIを操作することができるように育てることだ。

理事長 浅田 精利

